

授業科目名	スポーツ法・倫理特講演習		授業形態	演習	授業科目区分	応用科目 (スポーツ文化・社会科学)
担当教員名	森 克己				補助担当者名	
単位数	2 単位		履修年次	1	受け入れ人数	5
授業の概要 及び達成目標	この演習では、スポーツにおける法的・倫理的問題であるスポーツ指導者による子どもへの体罰・虐待問題について取り上げ、日本における体罰の判例研究、英語文献の講読により考察する。					
成績評価の方法	□学期末試験の成績（％） ■授業への取り組み状況（50％） ■レポート等の提出状況（50％）を総合的に評価する。					
成績評価の基準	授業での発表状況、毎回の授業時に課されるレポートの取組状況を総合的に評価する。					
テキスト、教材 参 考 書	参考書：(1)Paulo David., Human Rights in Youth Sport: A critical review of children ’ s rights in competitive sports, Routledge, 2005 (2)UNICEF,PROTECTING CHILDREN FROM VIOLENCE IN SPORT－A REVIEW WITH A FOCUS ON INDUSTRIALIZED COUNTRIES, 2010					
履修条件・ 関連科目	スポーツ指導者による体罰・虐待問題に関心があり、英語文献を講読するための英語力を備えていることが望まれます。		備考(教員メッセージ含む)			
オフィス・アワー						
授業計画						
回	担当教員名	授業内容			授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)	
1	森 克己	全体のオリエンテーション：演習の進め方、評価の仕方など			履修要項・シラバスの予習（10分以上）	
2	〃	体罰の判例研究①			体罰に関する判例の資料の予習（30分以上）	
3	〃	体罰の判例研究②			体罰に関する判例の資料の予習・復習（30分以上）	
4	〃	体罰の判例研究③			体罰に関する判例の資料の予習・復習（30分以上）	
5	〃	体罰の判例研究④			体罰に関する判例の資料の予習・復習（30分以上）	
6	〃	競争的スポーツにおける子どもの人権に関する文献の講読①			Paulo Davidの本の予習（30分以上）	
7	〃	競争的スポーツにおける子どもの人権に関する文献の講読②			Paulo Davidの本の予習（30分以上）	
8	〃	競争的スポーツにおける子どもの人権に関する文献の講読③			Paulo Davidの本の予習（30分以上）	
9	〃	競争的スポーツにおける子どもの人権に関する文献の講読④			Paulo Davidの本の予習（30分以上）	
10	〃	競争的スポーツにおける子どもの人権に関する文献の講読⑤			Paulo Davidの本の予習（30分以上）	
11	〃	ユニセフ報告書の講読①			ユニセフ報告書の予習（30分以上）	
12	〃	ユニセフ報告書の講読②			ユニセフ報告書の予習・復習（30分以上）	
13	〃	ユニセフ報告書の講読③			ユニセフ報告書の予習・復習（30分以上）	
14	〃	ユニセフ報告書の講読④			ユニセフ報告書の予習・復習（30分以上）	
15	〃	ユニセフ報告書の講読⑤			ユニセフ報告書の予習・復習（30分以上）	